

平成22年度 私立学校初任者研修北関東地区研修会

会 期 平成22年6月9日（水）～11日（金）
会 場 ホテルレイクビュー水戸
参加者数 59名（27校）

本年度初任者研修会の皮切りとなった、北関東地区研修会は、参加者59名で、水戸駅すぐ近くの「ホテルレイクビュー水戸」で開催された。

茨城県私学協会会長の廣瀬先生が講義の前に壇上を降りて、参加者との握手から始まった本研修会は、和やかな中にも緊張感のある研修会となった。

この初任者研修会には、大学を卒業してすぐ教壇に立った全くの新任者から非常勤講師を長く勤めた方、他業種から転向されてきた方などさまざまな方が集っている。講師も学校関係者から企業人まで様々な知見を有した方々で構成され、私学人として必要な資質を実践に基づいた経験談、社会全体を見据えた人としてのあるべき姿、科学的根拠に基づいた心の健康、学習指導の方法などが、実習なども交え講義がなされた。さらに講義を受けてのグループ討議では、指導員の綿密な計画のもと、グループを大きく「学習指導」「学級経営」「生徒指導」の3つのテーマ別に分け、それぞれ重点をグループのテーマに置きつつも全てのテーマについて、どのグループでも活発な論議がなされた。特に「学級経営」というテーマについては、生徒指導も学習指導も全てを含み、初任者にとっても今後、基本的・体系的な研修として重点的に取り上げるべき課題ではないかとの意見が出された。なお、飲食をともにした交流会では、くつろいだ中にも日常の先生方の悩みや思いが熱心に語られ、話のつきることがなかった。



本研修会での内容構成は、以下の通りである。

- ◎私学人として生きる（廣瀬和喜 茨城県私学協会会長）
- ◎人間関係づくりの在り方／メンタルヘルス（鈴木由美 聖徳大学准教授）
- ◎効果的な学習指導（山崎吉朗 日本私学教育研究所専任研究員）
- ◎グループ討議（「学習指導」「学級経営」「生徒指導」の3グループ）
- ◎今、生徒指導に必要なこと（安藤博 茨城キリスト教大学非常勤講師）
- ◎社会人としての心構え／ビジネスマナー（山下郁子 ㈱ライブリー代表取締役）
- ◎私学教員の挑戦と使命（鈴木康之 水戸女子高等学校理事長・校長）

以下の文は、廣瀬先生の資料の一部であるが、当たり前のようにできてなかなかできないことだと思うので紹介しておく。

話の聴き方10か条

- 1 話のきっかけを大切にしよう。
- 2 話に耳を傾けよう。
- 3 話す楽しさ、聞いてもらえる喜びを体験させよう。
- 4 話の雰囲気づくりに努めよう。
- 5 聴くことは、相づちを打つことから始めよう。
- 6 話は共感的に聴こう。
- 7 話は最後まできちんと聴こう。
- 8 話は評価的に聴かないようにしよう。
- 9 対話は一緒に考えるような聴き方をしよう。
- 10 自己開示は最後にしよう。

こころの欲求を満足させよう

- 1 話したい欲求
- 2 聴いてもらいたい欲求
- 3 わかってもらいたい欲求
- 4 成長したい欲求

最後に、私が印象に残った言葉をいくつか紹介させていただく。

「課題を一つ一つ誠実にこなすことが今一番私学に求められていること」
「気づき、注意力は人間が人間として成り立っている存在理由である」
「小さなドラマをつくらう」

（横山記）